

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会

日 時：令和5年9月29日(金)19:00～19:50

場 所：長崎医療技術専門学校 会議室

出席者：小林小夜子，有福浩二，大坪 健，吉岡正恒，栗田千栄

淡野義長，韋 傳春，林勇一郎，荒木一博，山内 満，岩永隆之

欠席者：なし

座 長：韋

1. 出席者紹介

2. 校長挨拶

・入試の状況報告

総合型選抜入試は9月9日に終了しPT4名，OT1名の入学が確定している。99点から78点の非常に優秀な人材がきてくれている。

オープンキャンパス時のアンケートでは，理学療法学科希望者：56名，作業療法学科希望者：25名。例年から考慮すると，このうちの8割が受験してくれる。作業療法学科の募集については，既に来年度に向けて対策しており，ガイダンスにも校長が直接参加し啓発活動に力を入れてる予定である。

3. 前回会議後の報告

岩永) 前期行事，取り組みの報告

・広報誌 Potnurturer の「学生委員会」記事に沿って説明。

コロナ禍前とほぼ同様に行事が進んでいる。先日行われた長崎県スポーツ交流大会アンケートも，学生の結果からは好印象である。

4. 開会

当委員会第6条の規定による出席数を満たしており，本委員会は適切に成立していることを確認する。

5. 委員長選出

委員長は小林小夜子先生ですすめさせて頂く。

6. 審議事項

山内)『令和5年度学生アンケート結果について』(別紙資料)

山内) (資料に沿って説明)

・前回の本会議を受けて，今年度から実施した。

・回収率78%で，「そう思う」「ややそう思う」「どちらでもない」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階で評価し，全体的に80%以上が「そう思う」「ややそう思う」の肯定的意見である。

・質問6「学校のスケジュールや学校行事予定が把握しやすい」の項目は，「そう思う」「ややそう思う」の学生が74%である。約25%の学生が「どちらでもない」以下の否定的意見であり，1年生，3年生に多くみられる。質問15「学校のお弁当販売に関するアンケート」では2割，質問16「心身の健康保持増進についての適切な支援」では2割強が否定的な意見である。全体の8割が肯定的意見であったため，抜粋したが，7割以上の肯定的意見であるため低い状況ではない。

- ・質問 27「意見」ではカテゴリ別に記載している。

荒木)『令和 5 年度保護者アンケート結果について』(別紙資料)

荒木) (資料に沿って説明)

- ・成績送付に合わせてお知らせして、8 月 25 日から 9 月 20 日までの約 1 カ月間、QR コードからスマートフォン等で記入していただき回収した。回収率は 36.4%と低い数字であるが、割合については、例年通りの結果である。
- ・「学校改善について」の意見については、エアコンの設定温度などの学習環境や教員に対する要望などの意見をいただいている。
- ・過去 5 年間の推移も示している。回収率を上げる努力をしたが、最低の回収率となった。学校に対する関心が影響していると思われる。
- ・質問 1「学校のスケジュールや行事の様子が分かる」については、発信を意識して行った結果が、ポイントの向上に繋がったと考える。
- ・質問 4「担任や教員は学生からの相談に対応していると感じる」、質問 7「保護者からも学校や担任に連絡が取りやすい環境であると感じる」では過去 5 年間で、最も低い結果になった。

大坪) 学生アンケートの否定的な意見に対する対応はどうしているか。

章) 特定の個人への対応はできないため、教員で共有して改善に努めている。

小林) 個人の特定はできないので、エクセルの統計処理は SPSS 等を利用し、質問間での相関も確認した方が傾向をみられると思う。

大坪) 質問 18「将来の目標を持って自分なりに一生懸命頑張っている」という学生が 94%という結果は期待と安心を感じる。

栗田) 子供を通わせている保護者として、本人が選んだ学校に行って、アンケートの肯定的な意見も多く、質問 20「本校の学生として誇りを持っている」というところも、86%が肯定的意見で素晴らしいと感じたが、保護者のアンケート回収率 36.4%は残念と感じる。学校からの保護者名向け文書を見てないように思う。親子のコミュニケーションの減少も要因の一つではないか。

保護者の意見で「予定や連絡事項が急なことがある」とのことだが、保護者への連絡用メールの運用を開始されていると思うが、その登録状況はどうか。

章) 登録状況に変化はなく、利用者数は少ない。

荒木) 学校の中身を知っていただきたく、広報誌 Potnurturer も送付させていただいているが、連絡メール登録者の増加にはつながっていない。引き続き啓発していきたい。

吉岡) 先生方の真摯な対応とか、新しいことを取り入れようとする革新的面も理解している。自分の会社でも利用者家族からのハラスメントで弁護士の方に相談するケースも出てきていることから、保護者への対応の難しさも共感できる。

章) 学園でも職員向けのクレーム対応の研修会を開催した。保護者からの意見に対しては、職員全員で確認し慎重に対応したい。

小林) 自分は学校長として授業を見回っている。その後、学生指導や講師の先生へのお願いもしている。第三者に授業見学してもらうことが授業内容の改善につながり、学生の授業態度の改善にもつながっている。

林) 昨年度くらいから講師の先生への意見、要望を学生が直接伝えている。伝え方に失礼のある学生も

おり、学生のお客様感覚が強くなっている。

有福) スケジュール管理について工夫されているが、学生から具体的意見があるのか。

林) 学生自身が、自分のスケジュールを管理できるように育成したいと考えている。全員タブレットを持っているので、あらかじめ見せる工夫として、google カレンダーに時間割を反映させ自己管理させたい。

小林) 保護者の意見で「決して安くない授業料…」という意見があるが、将来性や他校と比較してどうなのか。ちなみに本校美容専門学校は県内2校しかない。同様の意見があるが、福岡方面からするとかなり安い設定である。理学療法士、作業療法士を育てると考えれば高くないと思う。保護者も子どもに対する投資と考えるべきであり、卒業して理学療法士、作業療法士として就職すれば取り戻せるものであり、他校との比較を含めて、保護者、高校生、オープンキャンパス等で説明し理解を求める必要がある。

長年、教育をしてきたものとして、学校教育と家庭教育とで成長を促していくところが、バランスが崩れているように感じる。親がかり、大人がかりで、してもらって当然という印象がある。「お金払っているんだから、それぐらいしよてよね」みたいな感じに読み取れる。これでは、子供の成長にはつながらないと考える。あくまでも意見からの私的な感想である。

章) 学生の意見に「カロリーメイトの自販機を入れて欲しい」とあったが、近隣のコンビニも閉店し不便になったので、カロリーメイト等の軽食の自販機を導入予定である。

栗田) 学校ホームページの就職・求人情報が令和2年度でとまっている。

章) 早急に更新する。

有福) 特に多かった意見や傾向はあったのか。

林) コメントを書く学生が減っている。授業評価を取っているが、3年前までは肯定的意見もあったが、最近は否定的な意見しか書かれていない傾向を感じる。

小林) 学年で特徴や傾向はあるか。

林) 3年生は実習などがあり、多く書いて伝えてくれる。1年生は肯定的、否定的ともに言い回しに違いがありストレートである。

章) 管理者として教員全員の授業評価を見るが、先生方の評価はすごく高い。基礎医学系の科目は情報量が多いので評価に反映されにくいと考えるが、準備を怠っている先生がいるとはとは思えない。

林) 非常勤の先生は定期試験で学生に感想を書かせている。ちょっとした意見でも取り入れて工夫されている。常勤よりも努力してくださっている。

7. 総評

小林) 一部否定的な意見もあるが、全体的に良い評価だと判断できる。ハラスメント対応については、繊細対応していく必要がある。逆ハラスメントの対策もしっかりとしていくことで、学生、教員にとってもより良い学校生活につながっていくと考える。

8. 謝辞

淡野) 保護者アンケートの意見が気になる。学校側も予防的対策を検討していきたい。非常勤講師を含め、先生方は努力してくれている。しかし、卒業後臨床2~3年目で不適應を起こすケースが増加している。今の実習は学生のストレスを極力少なくしようとするあまり、臨床現場の現状と大きく違っている事も要因と考えられる。その辺りも在学中に対応していきたいと考えている。本日は多

くの意見をいただき感謝している。

9. 閉会

章) これを持ちまして令和5年度 第1回学校関係者評価委員会を閉会する。

次回の学校関係者評価委員会は、令和6年3月29日(金)を予定する。